この街の いいね を届けます
エリート情報 Take Free
2022
3/19 2367号
茨城県南版
次回は 4/2(土) 発行

Rの軌跡 一二〇年

Since 1902

龍ケ崎中学 竜ヶ崎一高 硬式野球部史 【創部百二十周年記念誌】

完成

第94回選抜高校野球大会（春の甲子園大会）が開幕を迎え、いよいよ球春到来となった。ところで茨城県の高校野球（正確にいうと当初は中等学校野球であるが）の歴史を創始した学校はどこか、皆さんご存じだろうか？　答えは、小紙配布地域に所在する茨城県立竜ヶ崎第一高等学校である。同校の前身である龍ケ崎中学が、全国中等学校野球大会に大正7年の第4回大会から5年連続出場の偉業を成し遂げている。同校野球部はその後、昭和・平成も含め三時代にわたり計10回、甲子園出場を果たしている。「古豪にして強豪公立校」、それが竜ヶ崎一高野球部なのである。そんな同校野球部の創部から今日までの歩みをまとめた百二十周年記念誌が先ごろ完成し、本県高校野球関係者の間で話題になっている。

龍ケ崎中学校（現竜ヶ崎一高）の創立は明治33年（一九〇〇）。その2年後に野球部が誕生している。今年はちょうど創部一二〇周年の節目の年。これに照準を合わせ、硬式野球部OB会（飯田三郎会長）が平成30年6月に記念誌の刊行を企画した。一二〇周年記念事業の鎌倉克彦実行委員長によれば、「多くの県立高校で野球部史が作成されているが、本校にはない。創部百周年のころから部史刊行の機運が盛り上がってきた」という。そして、平成30年8月から毎月、実行委員たち十数名が同校の白幡会館（同窓会館）に集まり、編集作業を続けてきた。

飯田会長は、「資料や記録などは割愛せず、極力全て載せよう。また、本校野球部にふさわしい記念誌にしよう」との編集方針を掲げ、実行委員会を指導してきた。

さて、完成した記念誌はどんな内容なのか――。

書名は『Rの軌跡一二〇年　龍ケ崎中学・竜ヶ崎一高硬式野球部史』。Rは、草創期からユニフォームの胸に記されたマークであり、歴史と伝統の象徴である。また、このRマークに憧れて同校野球部を志望する中学生も多いという。次に本文の構成と内容を紹介しよう。

記念誌の巻頭を飾るのがグラフィックス企画だ。同校の校訓・校歌・応援歌や学校の沿革とともに野球部の歩みを概観した後、Rの軌跡を今に伝える記念碑や数多くの優勝記念品、ユニフォームの変遷などを紹介。さらには先に述べた大正期の連続5回の全国大会出場の偉業や記憶と記録に残るR戦士たちの活躍などを多数の写真を使って視覚的に紹介している。

第一章「通史」では、同校の百周年記念誌を底本としながら、新たな写真や直近20年間の記録を加えて、野球部の歩みを詳しく紹介。コロナ禍における高校球児たちにも触れている。さらに、明治から大正の黄金期を活写した貴重な本である市原廣吉著『優勝五ヶ年・龍中野球関東覇権時代』（昭和27年刊）と相原言三郎著『黎明時代の龍ヶ崎一高野球部』（昭和51年刊）も再録している。

続く第二章「試合記録」では、明治から昨年の秋の大会までの試合記録を網羅するとともに、「茨城新聞」に掲載された紙面700点超を収録。第三章「一二〇年の部員たち」では、歴代部長・監督名簿などとともに、部員の名簿と部員たちの証言・未来へのメッセージともいうべき100本以上の寄稿文を掲載している。

そして本記念誌の特徴的なコンテンツが第四章の特別編集企画「OB監督・部長座談会」だ。

同校野球部には、卒業後大学に進み、高校教諭となって野球部の指導に当たってきた人が延べ25名もいる。現在、専修大学松戸高校野球部の監督・持丸修一さんがその第一人者だ。持丸さんは、選手として昭和41年に甲子園に出場したほか、コーチ・監督としても母校を3度甲子園に導いている。また、その後監督を務めた藤代高校、常総学院高校そして現在の専大松戸高校を含め4校全てを甲子園に導いてきた名将として知られている。

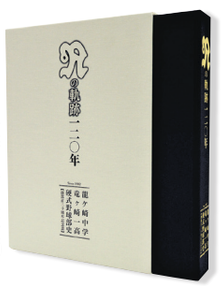
持丸さんをはじめ、OBたちが指導している学校は今も茨城・千葉・栃木・群馬に多数あり、毎年秋には15校程度が出場して「Rカップ（竜ヶ崎一高杯）野球大会」が開催されているほどだ。

座談会では、9名のOB監督・部長が出席、「野球部で何を学び、指導者として何を伝えるか」と題し、高校時代の思い出（今だから話せる苦労話）に始まり、なぜ指導者になったのか、指導面で心掛けていることなどを語り合っている。

鎌倉委員長は、「編集に当たっては多くの方々にご協力いただきました。心から御礼申し上げます。本誌の刊行をOBや関係者に先行案内したところ、たくさんの企業・団体・個人の方々から予約と協賛をいただきました。ありがとうございます」と話している。

記念誌は、茨城県内の約100の高校と県南地区の約80の中学校に寄贈するほか、協賛してくれた多くの方にも納本。現在の部員たちにも歴史と伝統を伝え、未来につなげようと、早速この3月に卒業した部員に贈呈した。今後の卒業部員にも贈呈する予定だが、数に限りがあるものの希望者には頒布にも応じてくれるという。（1部1万円）

問い合わせは、Email: ryuichibc@gmail.com または、☎090・8874・6780鎌倉さんまで。



▶A4判、上製箱入り。本文920ページの大部の本となった

▶120年の歴史のなかで多くの記録と記憶を残した▶5回連続全国大会出場を成し遂げた大正期のR戦士たち

◀熱戦を報じる新聞紙面を多数掲載している

◀「OB監督・部長座談会」も収録